

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	04-02-03-01
事務事業名	適応業種支援事業		根拠法令・要綱等 備前市補助金等交付規則
事業開始年度	S46~		
総合計画	大項目	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	問合せ先 担当課(室) 商工観光課
	中項目	起業と創造が支えるまちづくり	職・氏名 商工労政係長 中島 和久
	小項目	適応業種の育成	電話 0869-64-1832

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	地場企業、地場企業従事者
目的(何のために)	耐火物・備前焼などの地場産業や伝統産業のもつ高度な技術を生かした新しい工業を振興するため、岡山セラミックスセンターの機能を活用して異業種間の交流や関係業種間におけるシステム化の推進を図る。
行政活動(どのような方法で)	岡山セラミックスセンターの機能を活用して異業種間の交流や関係業種間におけるシステム化の推進を図るため、補助金を交付する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市内耐火物企業の技術力の向上と産業の活性化を目指し、雇用の拡大を図る。

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	補助金交付団体		団体	1	1	1
	直接事業費		千円	7,634	7,267	6,338
	人件費		千円	840	501	93
	事業費計			8,474	7,768	6,431
	国県支出金					
	受益者負担					
	市一般財源		千円	8,474	7,768	6,431
	必要人員		人	0.14	0.05	0.01
	結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績
事業実施数		説明				
結果指標量		件		7	6	6
対前年比		%		-	85.7%	100.0%
活動コスト		円		8,474,000	7,768,000	6,338,000
結果指標	単位当たりコスト	円		1,210,571	1,294,666	1,056,333

事業の成果			
成果指標名	研究実施件数	式又は説明	1件以上
成果指標量	17年度	18年度	19年度
対前年比	2	3	4
		150.00%	133.33%
到達目標値	1件以上	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A~E>	B
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	本市の地場産業である耐火物についての研究開発施設として、センターの存在は大きい。	
対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		
	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
行政活動	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
市民ニーズ	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	効率性評価<A~E>	C
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	課題認識	
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	補助金の交付額算定を厳格に行い、支出している。	
	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
コスト	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	有効性評価<A~E>	C
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	課題認識	
職場	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである	毎年研究実施件数が増えていることから、その有効性は認められる。	
	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		
成果向上の可能性			
市民参画度			

平成20年度の状況		説明	昨年と比べ25%減で補助金支出を行うことにしている。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で真止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 1件以上	結果指標量	1件以上
成果指標量		成果指標量	1件以上

総合評価		評価区分<A~E>	C
耐火物の研究施設である岡山セラミックスセンターに対する補助金は、地場産業の育成、開発のため、必要であることから、今後も継続していく。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	センターの事業活動の周知と活用	H21	耐火物業界の技術力、競争力の向上